

WACATE

ワカテ マガジン

Magazine

Vol.16

✿ ご挨拶 ✿



こんにちは。WACATE-Magazine 編集部です♪
関東では桜が満開を迎え、
晴れた日にはとても綺麗な桜が見えました♪

新しい年度になり、沢山のウキウキと
ちょっぴりの不安があるかと思いますが
新人さんもベテランさんも
元気に明るく行きましょう！

WACATE-Magazine 編集部としても今年度も
出来る限り楽しく、明るい話題を中心に
盛り上げていきたいと思ひます！

さあ、そろそろ WACATE 2010 夏の話題が出せるかな？
今回は ShortShort で特集を組みました！是非ご覧くださいませ♪

✿ vol.16 のお品書き ✿

- p.01 ご挨拶/お品書き/WACATE TOPICS
- p.02 【特集】企画しよう！開催してみよう！！WACATE ShortShort
- p.07 【コラム】WACATE ShortShort vol.11 Report
- p.10 【リレーコラム】せんばいにきく。
- p.11 【リレーコラム】ワカテにきく。
- p.12 【トピックス】SoftwareTestTopics
- p.13 【連載】池田暁の「ミュージカルに恋して」
- p.14 【連載】今月の STAR★
- p.15 【リレーコラム】WACATE-Blog 出張所
- p.16 【連載】源太郎の「開運ソフトウェアテスト占い」
- p.17 お知らせ/編集後記/おくづけ

✿ WACATE TOPICS ✿

- [News] WACATE 2010 夏が 6/12[土]~13[日]にマホロバ・マインズ三浦で開催されることが決定しました！
- [News] さる 3 月 21 日、WACATE ShortShort vol.11 が開催されました！詳しくは p.07！

企画よめ! 開催してみよめ!

WACATE ShortShort

みなさんこんにちは^^

ばんばん@WACATE 実行委員会 SS 担当です☺
WACATE-Magazine でもお馴染みの WACATE ファンイベント「WACATE ShortShort」。
開催告知やイベントレポートはよくみるけど・・・

「なんかいろんなことが企画されているけど、これって誰がどうやって企画しているんだろう・・・?」

「わたしにもできるのかなあ?でも、企画したいときにどうすればいいのだろう?」

・・・今回は WACATE ShortShort(以降 WACATE-SS と略します)に対し「参加する側」ではなく、「**企画する側**」を経験してみたいアナタのために、WACATE-SS のコンセプトや、企画・運営の流れなどを紹介していこうと思いまーす☆



ところで WACATE-SS ってなあに?!

そも、WACATE-SS とはなんぞや??
ファンイベントであることはわかるけど、なんかいろんなイベントを開催しているよね・・・w

WACATE-Magazine の vol.5 にもちょこちょこ解説が入っていますが、改めて WACATE-SS とは?というお話をしようと思います。

まずはコンセプトをご紹介します♪
(右上をご覧ください^^)

WACATE-SS については実行委員が企画・運営するのではなく、WACATE 参加者などの「**WACATE ファン(自称)**」が**主催者**となります。企画を実現するために協力者を募り、予算見積もり、会場確保、告知や広報活動、開催、レポート作成等、**イベント運営を一通り経験する機会**を WACATE ファンに提供しています。
ということで「**こんな企画を実現してほしい**」という

声だけではなくにも動かず開催にたどり着きません。

「**こういう企画を自分の手で実現したい!!**」という方がいて初めてイベントが開催されるのです。

また、WACATE は半年ごとの開催であるため、その間の WACATE ファン同士の交流や、WACATE に参加してみたいけどいきなり合宿に参加するのは不安と思っている方が気軽に参加できる場を提供する目的であれば、勉強会に限らず幅広いジャンルのイベント開催を可としています。もちろん勉強会だって大歓迎☆

WACATE-SS のコンセプト

- ☺ **WACATE ファンによる企画・運営**
ファン主体(=若手が主役)
幹事デビューにより成長
- ☺ **オフ会を含む交流の場の提供**
勉強会というくりにとらわれない交流
WACATE お試的な場(WACATE の雰囲気体験)
継続的な交流の場



これまでどんなことをやってきたの?

とはいえ、**実際にはどんなイベントを開催しているの?**という声もあると思いますので、これまでの WACATE-SS をさらーっと振り返ってみましょう☺
2009 年の 4 月に Vol.1 が開催されてから、これまで 11 回開催されています。詳しくは各イベント紹介文末に記載された、過去の WACATE-Magazine をご参照ください☆

■Vol.1

「青年テストエンジニアの主張： ライトニングトークス大会」

参加者は全員ライトニングトーカー！だから発表者なのに参加費はちゃんと払う。でも参加しちゃう。話しちゃう。WACATE 未経験でも参加しちゃう。そんな熱狂ファンによるとってもアツい一日でした。



いまではすっかり WACATE 名物のゴングが登場したのは実はココが初めてなんですよ♪

→WACATE-Magazine vol.5 をご覧ください

■Vol.2

「もっと外へ飛び出そう!! ハイキング大会」

日の出山山頂で昼食イベントとして「食べて覚える HAYST 法」を学ぼう！という企画が開催されました。御岳神社で絵馬を奉納しつつ、日の出山山頂に向かったはよいけど、昼時をとうに過ぎ、サンドイッチ組み合わせ実行中、参加者全員餌を前に待たされ続ける犬と化したとかwww



意外な組み合わせを発見したり、単体でダメだろこれ！という具(というより調味料?)もあったりと、泣いたり?!笑ったりwの一日でした。

→WACATE-Magazine vol.6 をご覧ください

■Vol.3

「WACATE2009 夏 前夜祭」

WACATE4 回目にして初めての試み！どうせなら前日から盛り上がっちゃえ!!と、遠方からの参加者も地元の参加者も前日から楽しみたいというファンで盛り上がりました☆



途中からギター侍が乱入したとかいう話もありw
実行委員はちらっと覗きに行くくらいしかできないのよ(涙)

→WACATE-Magazine vol.7 をご覧ください

■Vol.4

「WACATE2009 夏 後夜祭」

WACATE の2日間が終わったばかり、まだまだ名残惜しい気持ちを抱えたままで、すぐには帰れません!!!じゃあ参加者みんなで打ち上げしちゃう☆という企画があがりました。

途中から実行委員・ゲストも登場。2日間の熱気を持ちこんで余韻に浸りつつあっという間に過ぎました。

→WACATE-Magazine vol.7 をご覧ください

■Vol.5

「観よう、踊ろう、楽しもう！」

ミュージカル「ミー&マイガール観劇会」

WACATE2009 夏の熱気が冷めやらぬころに開催。観劇に興味はあってもなかなか行く機会がないというファンには格好のネタだったのでは?! 実際初めて観劇する方もいました。

観劇自体は席の都合で皆でまとまって一緒に観ることはできずとも、その後感動を共有し盛り上がったとか☆

→WACATE-Magazine vol.7 の「ミュージカルに恋して」をご覧ください

■Vol.6

「ガールズトーク&交流会」

ここで女性限定ネタが登場。WACATE には女性ファンもたくさんいるのよーということアピールしちゃうかなとwだから男性の皆さん怒らないでねっでもって、男性ファンの皆さんは夕方から参加OKだからねっ

ということで、ランチはガールズトーク。ランチなのになぜか飲み放題wでもってウェイターはイケメン揃いのお店☆言いだしっぺが姐さんと呼ばれるのも納得ですwそして夜は恵比寿の夜景を楽しみながら男女混ざって盛り上がりました。

→WACATE-Magazine vol.8 をご覧ください

■Vol.7

「少林寺拳法 ～国広さんと人づくり～」

運動ネタが登場！講師は少林寺拳法 5 段！！でもなぜか講義の内容は少林寺拳法だけじゃなかったりするwwwなんてたって講師は話し出したら止まらない(失礼^^;)国広さん。頭も体も鍛えちゃいました♪



いやぁこれはめちゃうちゃ美味しい企画でした。(なのに突如どーしても行けない事態に陥ったかわいそうなあたしorz)

→WACATE-Magazine vol.10 をご覧ください

■Vol.8

「WACATE Short-Short Vol8.

勝沼新酒ワイン祭りでテ(イ)スティン グ」



お世話係は「WACATE のオヤジコンビ」永田さん&杉田さんwイテレーティブなワインテ(イ)スティングを開催。ゴキゲンな一日を過ごしました✦結果的にボーイズトークになったこの回、ワインレッドのメイドさんに一同大に癒されたらしい✦・・・ボーイズでよかったカモという噂も(爆)

→WACATE-Magazine vol.12 をご覧ください

■Vol.9

「WACATE2009 冬 前夜祭」

なんと当日は嵐！！！！雨も風もすごかった。波もすごかった(さすがに波を見たのは車でいった私くらいしかいないかも;)でもみんな頑張ってきた！まさに雨ニモマケズ風ニモマケズwしかし傘は風に負けたwwwおちょこになったカワイソウな傘がとても

印象的でした。

外の天気と対照的に前夜祭は楽しくまったりとしたひとときでした

→WACATE-Magazine vol.13 をご覧ください

■Vol.10

「WACATE2009 冬 後夜祭」

前回同様、盛り上がらないワケが無い！今回は参加者だけで大いに盛り上がりました。



席をくじ引きにすることで、WACATE 開催中に話せなかった人とも話げできたそうで、更に盛り上がり効果upだったようです☆

→WACATE-Magazine vol.13 をご覧ください

■Vol.11

「ロイヤル・アジャイルインスペクション」

クルーズ船上(サンデッキ)でアジャイルインスペクションワークショップを開催しちゃいました。

前日まで「当日は嵐！」という天気予報。前夜祭に続きまたしても嵐かい？！(爆)・・・しかーし！当日は晴れた！すごい！風はちょっと強かったけど、気温も温かく日差しも穏やか。

そしてアジャイルインスペクションの演習は熱中しすぎてレインボーブリッジ通過も気づかないほどwwwその後カラオケボックスで永田さんの講義を聴きました。

→今号この記事の後にレポートが載ってます

こーんな感じで、**いろんなことをやってきました！！**(あらっ?!振り返ってみれば、あたしたら参加率5割を切ってる@@;ちょっと悔しいわん;)

参加するのも楽しいですが、企画する楽しみ、実現する醍醐味もまた格別ですよ☆

大がかりなイベントにする必要はありません。ちょっとしたオフ飲み会でもよいのです。そこに、ちょこっただけになにか趣向を凝らすことで、ステキなイベントになっていきますよ✦是非気軽に企画してみましょ

また、「あれ?なんか Vol.5、いいんちょが企画してない?」と思った方もいらっしゃるかもしれませんが・・・いえいえ、**実行委員**として WACATE ファン。どうしても企画したいイベントがあったら**実行委員**ではなく**ファン**として申請するのですよ。え?あたしは企画しないのかって?wwwそのうち企画しちゃうカモ♪震えて待て!www



WACATE-SS を企画してみようかと 思うけど・・・どーすればいいの？！

・・・という疑問はかねてから皆さんの中にあっただか
もしれません^^;ここで、企画を思いついてからの
一通りの流れを紹介しようと思いまーす。

★SS 企画運営フロー★

- ① 企画アイデアを思いつく
- ② WACATE-SNS などを利用して反応を見る
- ③ 協力者を募り、概要を決める
- ④ 企画申請をする
- ⑤ 企画が承認されたら詳細を詰め、運営環
境を整える
- ⑥ 告知 Go サインが出たら告知開始
- ⑦ 募集開始
- ⑧ 参加者へ連絡など当日に向けての準備
を行う
- ⑨ 開催！！！！
- ⑩ ふりかえりを行う
- ⑪ WACATE-Magazine にレポートを投稿する
- ⑫ 終了報告をする

・・・道のり長っ！！！！www

でもこれでめげちゃいけませんよおw
参加者を公募するのですから、なあなあでは済まない
のです。いろんなことを想定しながらステップを踏ん
でいく必要があります。

やり抜いたときに得られるものは大きいですよ☆
それでは、各ステップごとに解説^^

① 企画アイデアを思いつく



企画内容についてはコンセプトに則っ
ている限り得に制限していませんが、
WACATE ファンが対象であることを考慮す
るとよいのではないかなあ？
企画者は「いいだしっぺ」と呼んでいま
すw

② WACATE-SNS などを利用して反応を見る

WACATE-SNS に参加していれば WACATE Short
Short のコミュニティの「企画を考えよう、提案
しよう、実現しよう」掲示板に書き込んで反応を
見ることもできます。なお、この掲示板はアイデ
ィアを提案する場なので、**実際企
画を実現するときは別途
ss@wacate.jp までご一報ください**
☆

もちろん WACATE-SNS に参加して
いなくてもいいだしっぺになれます。

反応が無くてもあきらめないように！☆



企画を練り直し、ひと工夫することで**魅力ある企
画**にしてみましょう！！

この時点でも気軽に実行委員会にご相談くださ
い☆

③ 協力者を募り、概要を決める

賛同者が反応した時点でつかまえるのが一番で
す♪幹事は「お世話係」、協力者は「お手伝い」
と呼んでいますw

大枠を決めるべく、下記事項について検討しまし
よう！

- 企画名
- 種別(勉強会/LT/オフ会/その他)
- 目的
- 企画概要
- 開催日時(候補日)
- 会場(候補)
- 予算
- 協力者(お手伝い・講師など)の有無
- 企画を進めるためのインフラ環境
(ML など、何をつかうつもりか?)
- 開催までの大まかなスケジュール



④ 企画申請をする

企画は**実行委員会の承認を得る必要が
ありまーす！**

申請をする立場ということを考え、フレンドリー
な文章にならないように気をつけましょう！
承認された時点で選出された実行委員がアドバ
イザとして就きます。

アドバイザはお手伝いとは異なり、直接運営を手
伝うことはありませんが、よりよいイベントにな
るように相談にのったりアドバイスをする役割
を担います。運営を進めるにあたり、気軽にどん
どん相談してみましょう！！



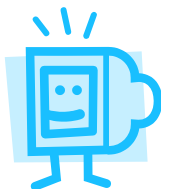
⑤ 企画が承認されたら詳細を詰め、運営環 境を整える

詳細も必ずアドバイザに報告してね☆

申請時にある程度決めた事項につ
いては詳細を詰めていきます。他に以下
のような事項を決めていきましょう。

- 告知方法と告知文
- 申し込み方法
- 必要な備品と調達方法
- 開催までのタスクとスケジュール
- 当日のスケジュール
- 当日の対応(緊急連絡先や遅刻者への対応
など)

また、お世話係・アドバイザ(担当実行委員)との
連絡用に必要に応じML やwiki などの環境を整え
ましょう。チャットを利用したケースもあります。
募集用の告知サイトの作成も必要ですよね~☆
告知文についても実行委員レビューが入ります
よ



告知 OK と判断した場合、アドバイザーが告知の Go サインを出します。
ここまで意外と時間がかかるので、日程は余裕を持たせましょうね♡

⑥ 告知 Go サインが出たら告知開始

告知については実行委員も協力しますが、告知方法を調査・検討することも大事です！
頑張っって宣伝しまくりましょう！！



⑦ 募集開始☆



頑張っって宣伝してもなお参加者が少ないことだってあります；
でもめげちゃダメ！
参加希望した皆さんはとても期待しているのだから、大丈夫^^

⑧ 参加者への連絡など、当日に向けての準備を行う

参加者の個人情報の管理は特に気をつけてね！
面識のない参加者が当日ちゃんとお世話係を見つけられるような工夫も必要です！
当日の運営をスムーズにするためにしっかり準備しましょうね☆



⑨ いよいよ開催！！！！

当日は大変だけど主催者ならではの楽しみもいっぱいありますぞ！
また、当日に限っていろんなハプニングが起こるものですwそれをうまく対処するのもまた貴重な経験です。がんばれっ♪



⑩ ふりかえりを行う

ここ大事ですよ☆

- 今回こんなこと試してうまくいった^^
- 失敗を踏まえて今後はこう対応しよう！
- 次回はこんなことを試したいなあ♪
- こんなことしてもらって嬉しかったよ！！



といったことを挙げてみましょう

失敗したら失敗したなりに、よい教訓が得られます。トラブル回避のノウハウも身につきます。それを踏まえて次に活かせることが大事です！！
ということで、どちらかというと失敗するほうがラッキーだと私は思いますよ。

⑪ WACATE-Magazine にレポートを投稿する

この「権利」、もれなくついてきますwww
投稿の機会まで Get できちゃうなんてまあステキ+

⑫ 終了報告をする

収支報告を含む開催報告を提出して任務完了！！（これまでは特にお願いしていませんでしたが、今後は報告を必ずお願いします*）
お疲れ様~☆



・・・と、こんな感じです。そんな難しくないでしょw
是非挑戦してみませんか？♡



それじゃあ・・・

ちょっと企画しちゃうのかなあ~♪
でもちょっと不安だよ・・・

企画したいなあと思うものの、

「人が集まらなかったらどうしよう：」

「こんなつまらないかもしれない?!」

「何から始めればよいのかさっぱりわかりませえん(涙)」

・・・なあんて悩んで二の足を踏んでいる方もいらっしゃるような気がします。。

イベントをやり抜くのはそれなりにパワーが必要です。そこはさすがに譲れないwww
ですが、**勿論、ひとりで悩むことはありません！！**
実は「こんなことをやってみよう」と言ったものの反応が無くて諦めてしまったら、周りの人は密かに実現するのを待っていたというケースもあるのです。。。うん、これはもったいない！！
そんな時は、是非お気軽に実行委員会に相談してみてください^^/

このたび新たに窓口開設しましたっ♡

↓お問い合わせ・ご相談・企画申請はコチラ↓

ss@wacate.jp

企画を実現したい☆というアツい想いを抱くアナタをお待ちしてまあ~す+

と・こ・ろ・で

WACATE2010 夏開催まであと2ヶ月ちょっととなりました。

ファンの皆さんから「前夜祭」の話題を聴くこともありますが・・・もうおわかりですね？**前夜祭も後夜祭も WACATE-SS** ですよ♡参加者が企画しないと開催されないのよ~wwwよろしく~☆

書いた人：ぼんぼん

WACATE ShortShort Vol.11

ロイヤル・アジャイルインスペクションワークショップ 勉強会レポート

■イベント説明

豪華客船ロイヤルウイング上で開催される、少数精鋭による豪華勉強会、それが本イベントであるロイヤル・アジャイルインスペクション勉強会です。うん、ロイヤルと付いただけでそこはかとなく豪華な気がする。なぜ豪華客船上で勉強会をする必要があるのか、うまく説明できませんが手元には偶然手に入った乗船招待券、進むは大海原に青空、そして共に勉強に励む WACATE ファンが揃えばきっと素晴らしいイベントになるだろうと直感が囁いたのです。



現実にはイベント数日前の天気予報では**雨**、前日の夜は**台風**並みの強風が吹き荒れ開催自体が危ぶまれ、当日3/21(日)はワークショップと**強風**のクライマックスが重なり別の意味でドキドキが止まらなかった本イベントですが、無事盛況の内に終了することが出来ましたのでレポートをお届け致します。

◆当日の様子

前日からの強風がまだ残る中、連休中の大桟橋ふとうはにっぽん丸を見学しに来た人達も集まり大いに賑わっていました。



普段よりも長蛇の列に並んで豪華客船ロイヤルウイングに乗り込む参加者達、写真ではどー見ても**船旅にだけける観光客にはしか見えない**のですが、浮かれることなくワークショップ用のテーブルをセッティングし、無料貸し出しの膝掛けまで調達を済ませるあたり、早速素晴らしいチームワークを発揮します。SSに初参加の人達もいる中、こうした一体感が得られるとお世話役冥利に尽きるというものです。

テーブルのセッティングを終了して自己紹介を済ませた後は、早速ワークショップを開始します。**プロジェクトもマイクも使えない環境**ですが、却って話を良く聞こうと参加者同士と講師役の永田さんとの距離が近くなり、話にも熱を帯びる結果となりました。

■アジャイルインスペクションの説明

ここから簡単にアジャイルインスペクションについて説明します。なお詳しい説明はJaSST'10 Tokyoに**講演資料「アジャイルインスペクションの実際」**が掲載されていますのでそちらをご覧ください。

◆インスペクションの課題

インスペクションでは通常厳密に定義されたプロセスの基にレビューを行います。より多くの欠陥を網羅的に検出しようとする方向に進み勝ちになってしまいます。

その結果長大なチェックリストを片手に大量のドキュメントをレビューする状態になってしまい、そこで発生する工数や集中力の限界などの制約から徐々に形骸化し、**インスペクションがその効果を発揮できず儀式と化して**いってしまいます。

◆アジャイルインスペクションの提案

インスペクションによる欠陥検出に限界を感じ、考え方を**欠陥の検出から予防**に切り替えて考案されたのがアジャイルインスペクションです。アジャイルインスペクションではドキュメント作成の早い段階からレビューを行うことで、ドキュメント中に欠陥が混入することを予防し、最初から高品質のドキュメントを作成できるように改善活動を進めていきます。



◆アジャイルインスペクションのメリット

実施する際のメリットには以下が挙げられます。

- ・前もって資料を読まなくても実施可能である
- ・サンプリングすることで、ドキュメントを全て読まなくても良い
- ・同様にサンプリングすることで、集中力が途切れることなく短時間(1ページにつき15~20分程度)でレビューが終了する
- ・曖昧さや矛盾の有無など、何をチェックするかルールを決めることで、ドメイン知識が無い人でもレビューが出来る

◆習うより慣れろ！ワークショップ開始

今回のワークショップでは全員チェッカー役(ルールに従ってドキュメントをインスペクションし、欠陥を検出していく人)になり、サンプルとして魔法瓶に関する要求仕様書のレビューを行うことになりました。まずドキュメントをチェックする際のルールを簡単に説明します。

ルール2. 矛盾

要件間に矛盾や衝突が無いかチェックします。

ルール3. 不明確

「出来るだけ早く」や「何時まで待っても」など、具体的にない記述が無いかチェックします。

ルール4. 設計

例えば要求仕様書の記述中に、設計などの要求仕様以外の記述が入ってないかチェックします。

ルール5. 網羅出来なくても気にしない

網羅的にチェックしようと頑張りすぎない。

検出した欠陥数の平均と、最終的に検出されるユニークな欠陥数の間には相関が有るそうです

実際にレビューする際は、上記のようなルールを3~7個程度決めてチェックしていきます。また見つけ出す欠陥はお客様に影響する故障が発生するリスクを持つ重要な欠陥に注目し、誤字脱字等の軽微な欠陥の検出は重要視しません。

◆ワークショップの様子

ルールを一通り説明終了し実習開始です。気を抜くとテキストが吹き飛ばされそうな強風の中、実習をやり遂げられるか不安を隠しきれないメンバー達、そんな彼らに対し「この強風下なら吊り橋効果を期待できるから大丈夫！」とよく分からない励ましでやる気をだしてもらい実際に手を動かしていきます。



↑吊り橋効果発揮中



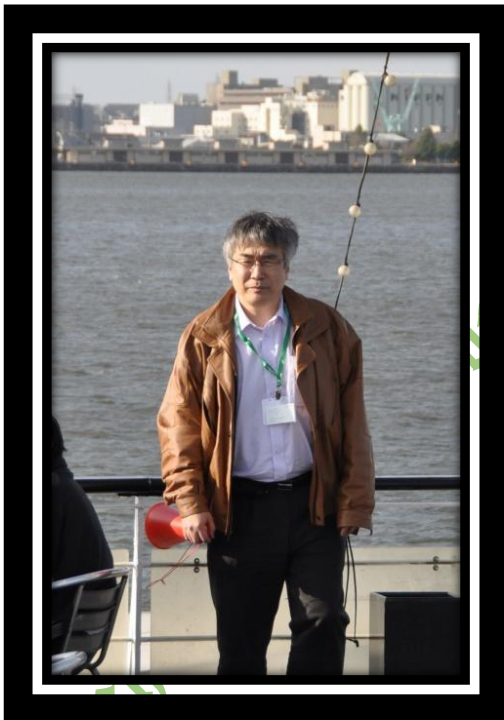
ルール1. 曖昧さ

「絶対ドラゴンズに勝って欲しい」この文章は読み手がドラゴンズのファンかファン以外かで、読み取る意味が正反対になります。また「子供が好きなおばさん」も同様に、好きなのはおばさんなのか子供なのか読み手の解釈で変わってきます。このような「多義文」が有るかチェックします

若干周囲の注目を集めるメンバーですが、目の前のテキストへの集中は途切れません。至って真面目にワークショップ進行中です。

◆やる気を出すための工夫

- ・ サイクル毎に検出した欠陥の数や種類などからメトリクスを測定すると、品質が向上していることが可視化できる
- ・ ライターに対する間違い探しではなく、ドキュメントの改善活動であるという意識をチーム内で共有する
- ・ 同様に、各種メトリクスをライターの評価には絶対に使わない
- ・ 書き直しではなく、レベルアップして成長しているという意識を持つ
- ・ 何処が問題か、何故問題と考えたか、コミュニケーションを取って気付きを得る
- ・ フィルタリングや各種メトリクスの分析を駆使して、欠陥が多そうなドキュメントをサンプリングしてみる
- ・ チームビルディングをしっかりと行う
- ・ ライターの意志を尊重する。修正すると却って冗長な文章になったり、ドメイン知識があることを前提にした文章などは取返して修正しない。



◆現場での工夫と改善効果

- ・ 指摘した欠陥の周辺と、追加・更新される文章の品質が向上する
- ・ ドキュメントが小さい内から実施すると効果大きい
- ・ ドキュメント作成開始時は短い間隔でアジャイルインスペクションを実施し、早期に安定して高品質なドキュメントが作成できるようにする
- ・ ライター毎にまとまった回数チェックする

◆経験談

実際にアジャイルインスペクションの経験談を聞いてみると、チーム内のコミュニケーションが円滑に進むようチームビルディングを行い、統計処理で改善効果を可視化し、予想と異なる結果が出れば振り返りで原因を特定し、欠陥が多そうなテキストをフィルタリングしてみるなど、実に様々な技法を駆使していることが分かりました。**狭い範囲の専門知識や技法に捕らわれることなく、品質向上を目標として適材適所で複数の技法を活用していく**姿には感銘を受けました。

◆ワークショップを終えて

ワークショップは船を下りた後も続きましたが、この日はロイヤルウェディングも予定されていたようで、新郎新婦の晴れ姿を眺めることも出来て何ともお目出たい気分になれるワークショップでした。



本来ならこのようなワークショップは屋内の会場を使用することで、天候などの制御不可能なノイズの影響を極力少なくすることが正しい手段なのかもしれませんが、そこを少人数によるメリットを最大に活かして参加メンバー一丸で臨機応変に対応していけば、**刻一刻と変わる状況の中でも安定してイベントを成功に導ける事が分かりました。**



今後も真面目にヘンなイベントを企画していきますので興味のある方は是非参加してみてくださいはいかがでしょうか？

書いた人：おたべ

伊せんぱいにきく。 ぽ

第9回：【「ソフトウェアテスト」での「デバッグ」視点のすすめ】 yok



WACATE-Magazine 愛読者の皆さん、はじめまして。(^^)
yok といいます。

某企業にて、主に組込み系の開発などをやっています。
ICE (In Circuit Emulator) という組込み用のデバッグの開発やテストツールのサポートなどもやっていました。
各種アセンブラから、C, C++, C#, Java、スクリプト言語の AWK, Tcl/Tk, Perl, Ruby まで、何でも節操なしに書いてしまう歌って踊れるプログラマ(笑)です。

JaSST'10 Tokyo にいったときにコラムの依頼をされて、何を伝えようか考えたのですが、せっかくの機会なので、今回は「デバッグを意識した視点の有効性」についてお伝えしたいと思います。

エンジニアリングという面では、デバッグは共通部分が非常に見えにくいので、体系化しにくいものです。そのせいもあってか、デバッグに関連する情報はソフトウェアテストに比べると、圧倒的に少ないです。

そういう中で、デバッグに関しては、機能の提供と使用という両面を長年経験してきているので、その中で得た知見をお伝えするのが、読む人にとって得るところがあるだろうと考えたのです。(^^)

さて、本題です。

テストとデバッグは、人によっては混同するほど似たところがあります。ただ、対象とする範囲が異なるため、視点が異なります。

バグを「どう見つけるか」ということが、テストとデバッグに共通する関心事ですが、デバッグの場合は、さらに、発見したバグを「どう修正するか」ということも関心事となります。

「もの」を片目で見ると、両目で見るとの違いを想像してください。対象を両目で「立体的」に捉えると、片目で見ていたときには見えていなかったものが「見えて」くるようになります。

見えていなかったものが「見えて」くると、やることが変わります。

では、「どう修正するか」ということを意識すると、何が変わるのでしょうか？

変わってくるのは、テストの「進め方」です。

バグを「見つける」だけであれば、システム開発のどの段階で見つけても、実はあまり大きな違いはありません。

けれども「修正する」ことまでを考えると、バグを「どの段階で見つける」かは大きな違いとなります。

「問題は発生した時点から遠くなるほど解決にコストがかかる」というのはシステム開発において一般的に知られている経験則です。

仕様段階でならドキュメント一行の修正で済むようなバグでも、出荷後の時点で見つかったら、相当の時間とお金を費やさなければ修正ができなくなります。

単体テストで見つければ簡単なバグでも、システムテストで見つかったら、関連する機能や担当者をまたがった大がかりな修正が必要になってくる場合がでてきます。

「修正する」ことを意識しだすと、どういう段階で、どういうテストを行わなければならないのかということが、実感としてわかってきます。

単体テスト、結合テスト、システムテストのようにテストをフェーズ別に分けることの利点や、静的検証、動的検証という区別がどうして生まれてきたか、ということも実感できるようになってくるでしょう。

「システムの品質」を上げるためには、「適切な時期」に「適切なテスト」を行うことが大切です。そのために、バグを「見つける」という視点だけでなく、「修正する」という視点を持つておくことは、大切です。

もし、あなたがテストだけを行う立場で、自分がたとえ修正することはなくても、修正する人の立場に立つことは、仕事をスムーズに進める上で役に立つでしょう。(^^)

ワカテにきく

第16回：【 自分の分岐点を振り返ってみる 】 なみき

■こんにちは

こんにちは。

“温泉”という**聖域**をもつ中岫さんからバトンをうけました なみき です。たぶん **WACATE マニア** の部類に入ります。(マニアと呼ばれてうれしかったりします。)

私の場合の**聖域**は、“**スキー**”です。(スノボではないところが、年代が、..)

今回は、自分の社会人生活の分岐点とスキーの関係を振り返って見ました。

■私の頭の中

時々、自分が考えていることはどういうことが多いんだろう？って考えます。パーセンテージで考えると社会人になってからほとんど変わらず以下のような感じなんですよ。

- ✿ 仕事のこと.....50%
 - ✿ スキーに行くこと.....30%
 - ✿ ラーメンのこと.....10%
 - ✿ 車のこと.....10%
- (食うか、趣味が半分な自分、..)

スキーが好きなんです。運動神経悪いし、体も硬いからかバランス悪いからヘタクソなんですけど、夏なのにスキーサイトを見ているくらい好きなんですよね。

スキーは、とりあえず行って滑れば満足。いろんなスキー場に行くことを楽しんでいます。**スキー場**で滑って、**ビール**飲んで、**温泉**入って帰ってくる感じです(しかも日帰り)。



写真：白馬八方スキー場でビール

■イマイちな方向に向かう私

私はどちらかというと開発者です。以下みたいな感じ。

- ✿ 基本設計を行って。
- ✿ コーディングとかは、多少する。
- ✿ 結合テスト、システムテストはなぜか元気。
- ✿ 保守に残るので少しずつ開発。システムに愛着が。

※ここでの保守は小さい機能を追加したり、問題箇所を改修したりをイメージしています。

社会人になったころは設計とかコーディングすることをなんとかこなすことしかできていなかったです。多分、言われたことをそのまま設計書にするだけ、コードを書くだけで時間を使い切っていました。考えてないで、考えたことを元にしようという態度ではなかったの、”コピペ”することで早く終わらせることが効率が上がってが**良い事**と思いついていたこともあったように思います。だから自分の担当範囲は問題も多くて、スマートでは無かったです。

■良い方向に向かう私

保守に残ると開発したものの全体が見える時間をもらえたように思います。(長い階段とかを登ってみて後ろを振り返って見た感じに近いように私は思います。)特に開発した範囲を再テストするときに、**なぜこのようなテストをするかを考えてから行うようになり**ました。このあたりが**私の分岐点**だったので、今まで仕事を続けてこれたのだと思います。

テスト設計を考え、**楽しむ**ようになり、このことから基本設計においても考えての設計書を作成できるようになりました。

私の仕事に対する態度、作業の精度、その他いろいろ、**テストというものから良い方向に向かった**のです。

■スキーと私とテスト

イマイちな方向に向かっていたとき、スキーをしている間はつらいことを忘れることができました。よって、あまり腐らず、保守でのテストという良い方向に向かう分岐点までのつなぎになりました。今後も気分転換のためにスキーには行くことでしょう。

何も考えず真っ白な世界に浸るといいものですよ。最近、**スキー場にも携帯のアンテナが立って**いて**仕事の電話がかかってくるのが残念**ですが(笑)

Software Test Topics

当番：上田 卓由 (Magazine 編集部)

こんにちは、上田です〜♪

4月になりましたねえ〜

新入社員が新しく入ってきて、新人歓迎会やお花見など今月もイベントが盛りだくさんです。飲みすぎに注意しましょー。

さてさて、それではお役立ち情報をお届けします〜

【資格】 JSTQB 認定テスト技術者資格

Advanced level トライアル試験

トライアル試験実施についての告知です。

ISTQB では技術者のレベルに合わせて Foundation、Advanced、Expert の3区分で資格認定を行うスキームになっております。また Advanced Level 資格は、テストマネージャ、テストアナリスト、テクニカルテストアナリストの3種別に分けられております。このたび JSTQB では、Foundation Level の上位区分である Advanced Level のテストマネージャ種別について、日本でも資格認定を開始するためのトライアル試験を実施する運びとなりました。

本試験は以降の本格的な試験運営にむけたトライアルであるため、試験合格者は通常の試験同様 JSTQB より正式に資格認定を行います。また、Foundation Level と同様に ISTQB を構成する各国組織で相互認証を行っているため、海外でも有効な資格となります。

資格区分：JSTQB 認定テスト技術者資格 Advanced Level

資格種別：テストマネージャ

日時：2010年8月28日(土)

開催地域：東京

試験料：21,000円(税込み)

受験資格：次の1.と2.の条件をすべて満たす者とする。

1. JSTQB 認定テスト技術者試験 Foundation Level 取得者
2. 業務経験3年以上(経歴書の提出あり)

申込開始：2010年6月初旬

主催：NPO 法人ソフトウェアテスト技術振興協会(ASTER)

試験実施：財団法人日本科学技術連盟

URL は[こちら](#)(申込み開始にあわせて更新予定です)

試験時間：120分

試験形式：複数の選択肢から正解を選ぶ形式

問題数：65問

出題範囲：ISTQB テスト技術者資格制度 Advanced Level シラバス及び ISTQB テスト技術者資格制度 Foundation Level シラバスに準拠(日本語訳は JSTQB の Web サイトから無償でダウンロードが可能です)

お問い合わせ先：非特定営利法人ソフトウェアテスト技術振興協会

JSTQB お問い合わせ窓口(e-mail:query@jstqb.jp)

出題範囲の日本語訳シラバスの最新版は[こちら](#)

【書籍】 欠陥ソフトウェアの経済学—その高すぎる代償—

著者：David Rice、宮本久仁男(監訳)、鈴木順子(訳)

出版社：オーム社

発売日：2010年3月17日

定価：3,990円(税込み)

ISBN：978-4-274-06797-6

“Geekonomics: The Real Cost of Insecure Software

(2007, Addison-Wesley)”を日本語に翻訳発行するものです。

ソフトウェアの欠陥が、かたに生活や経済に損害をもたらすかを、具体例を挙げ、それに依存した社会の危うさを明らかにした書籍となっています。

【書籍】 リコールを起こさないソフトウェアの作り方

主催：日本オラクル株式会社

著者：酒井由夫

出版社：技術評論社

発売日：2010年3月18日

定価：2,814円(税込み)

ISBN：978-4-7741-4216-6

大規模、複雑化したソフトウェアにどのようにして問題が入り込むのかを、実例をもとに解き明かし、日本のソフトウェアプロジェクトにフィットしたマネージメント技術及び、ソフトウェアの品質と開発効率向上の両立を実現するためのソフトウェアの資産化の技術を解説する内容になっています。

付録として「MISRA SA; MISRA ソフトウェア安全解析ガイドライン」の概要を紹介しているそうです。

今回ご紹介した書籍は、どちらも欠陥というものから実際に起こった損害を扱った内容になっています。安全性に関する書籍の発売が増えてきている感じがします。

このコーナーでは、書籍やイベントの情報を募集しています。

例えば、「来月勉強会とか OFF 会とか開催するんだけど掲載してくれない?」といったものでも OK です。

開催地も、日本全国津々浦々、どこでもかまいません。

情報をお待ちしております m(_ _)m

池田暁の

ミュージカルに恋して。

【第十六幕】—初ディナーショー!!!—

♪初ディナーショー！

3月21日の夕方、私は東京日比谷の帝国ホテルにいました。目的は「井上芳雄ディナーショー」。日比谷には日生劇場であったり、東京宝塚劇場であったり、シアタークリエであったりで、足を運ぶ機会も多いですが、帝国ホテルには用事もなかったわけです。



<会場にて>

そんな私ですが、まさか初の帝国ホテルがミュージカルがらみになるとは思いませんでした… 我ながらあきれけるわけです。(^-^)

♪女性率99%以上！

そんなわけで、会場に足を踏み入れたわけですが、そこはまさに女性の園といった趣。1テーブル8人で、それが54卓ほど、つまり450人弱くらいの規模に対して男性はおそらく5人くらい。アウェイ感バリバリな状況だったのです。ですが、最終的には私のテーブルには合計3名の男性が座り、なんとか落ち着くことができたのでした。いやほんと、どうしたものかと思いましたが。(^-^)

17:30に食事開始、18:45にショー開演ということで、食事は正味1時間。食事をゆっくり楽しむという感じではなくてちょっと残念。また、コースといっても品数が少なかったのもそこはちょっと残念だったかもしれません。

そんなわけで、私はもっぱらワインばかりを飲んでいましたが、おいしく、また緊張も手伝ってパカパカ飲んでしまい、開演時にはすっかりいい気分なのでした。

♪ショーは大興奮！

18:45になると照明が落ち、ショーの開始です。場内は一気に盛り上がります。詳細は書きませんが趣向が凝らされていてとても楽しかったです。座っている位置も良かったのか、彼の移動に面していたのでそりゃもうテンションも上がるわけです。ミュージカルの曲は2曲しかなかったのですが、観劇できなかった組曲虐殺での曲をうたってくれて嬉しかったです。最初は32,000円とは思いついたなあと考えていたのですが、結果大満足でした。

♪あの頃を思い出した

あの頃というのは初めて劇場に足を踏み入れた時のことです。人生初となる帝国劇場は少し緊張したことを覚えていますが。なにせ勝手がわかりませんから、どうに

も落ち着かず、でも開演してみればいっきになかに引き込まれる。そして、出てくるときには満足感。

こういった不安感と高揚感、きっとWACATEに参加される方もそうなのでしょうね。そしてそうありがたいものです。

♪コンサート三昧な3月

3月は「それぞれのコンサート」の市村版・鹿賀版の両方を見てきました。市村版ではファントムが観られたのが本当に感激で、感動がとまりませんでした。鹿賀版は小気味のいいトークを織り交ぜた進行が良かったですね。フランク・ワイルドホーシの名前を冠する「フランク&フレンズ」も良かったです。一幕はMITUKOのコンサートバージョン、二幕はこれまでの彼の作品であるジキル&ハイド、ルドルフ、シラノ、スカーレット・ピンパーネルからの曲でコンサート形式。彼の曲がとても好きな私にとっては夢のような時間でした。しかも、この日はゲストとして笹本玲奈が出演。ルドルフでは井上&笹本による曲を聴くことができ興奮です。ミュージカルコンサートはいろんな演目をつまみ食いできるので、とても楽しいですね。

♪今月の一枚

それぞれのコンサートはそれぞれの持ち味が見事に出て



いて良かったです。(^-^)

<会場の看板をパチリ>

♪終わりに

来月は去年のシアタークリエでの上演を経ていよいよ帝劇版の上演となる「レベッカ」。そして実際に楽しいレビューショーである「DownTown Follies vol.7」を観劇予定です。今回もタータンの男役姿を見られそうで、とても楽しみです。そして余裕があったら、とあるミュージカルライブ?を観てこようと考えて中です。<終><終>

今月のSTAR★

「合宿レポート！(かもしれない)」と銘打った今回のWACATE-Magazine vol.16でしたが、特集はばんちゃんに譲り、合宿の様子と共に我々がスター★の雄姿をお届けします！

某日、WACATE 実行委員会はWACATE 2010 夏に向けた合宿を行いました！
もちろんその合宿を引っ張っていくのは…



そんな中でも場を盛り上げようと穏やかな笑顔を浮かべる我々がスター★

でも、議論のときは**超マジメ**です！



…あれ？村上さんが立ってる…。
スター★は腕を組んで…あ、なるほど。「**監督**」ですね！

そして議論が白熱してきた午後には差し入れが！

「**堂島ロール**」！！

コ、コレは！補給戦線で紹介したウエポンです！皆さんも笑顔ですね。



チェックをしてもポーズは忘れません。

そして書類もマジメにチェック！



おお…神々しい…

もちろんコレを差し入れたのは…

池田さんと村上さんですね…。あ。スター★のために差し入れとはやはりスター★の人望はスゴイですね。



あーだ

こーだ

遊んでないで
仕事！

…すみませんw

もちろん、遊んでばかりではなくマジメに議論もしてまよよ！(念のため)

書いた人：コヤマン

WACATE-Blog出張所

このたび、WACATE 実行委員会に参加させて頂くことになりました。

私は以前から、いくつか勉強会の運営(※)に携わっています。勉強会の運営というと、大変そうと思う方も多いのではないのでしょうか。ご挨拶と自己紹介の代わりに、勉強会運営に携わってみての楽しさや良かったことを、経験を元に書かせて頂きます。

◆1. 視野が広がり生まれる楽しさ

運営に携わることで、読書や勉強により前向きに取り組めると感じています。勉強会への参加自体が目的を持って勉強する機会になりますが、運営する側として勉強会を盛り上げたいという目的も加わりますから。

次に、運営に関わることで場をつくる立場の視点を意識するようになったことを、挙げます。自分が運営に関わっていない勉強会に参加したときのこと。「話が分かりやすい」といった場に参加する立場での感想だけでなく、「初参加者でも打ち解けやすいよう工夫されている」という、場をつくる視点での気づきもありました。こうした気づきは、勉強会以外の場づくりでも生かせるのではと考えています。

運営中、運営メンバーでの打合せや問合せ対応など、様々な方とのやりとりがあります。その中で、違う意見や視点に気づかされることもありました。今運営中の勉強会でも、運営メンバーや参加者の方々に恵まれたこともあり、いろいろな視点を得ています。

◆2. 思いを提案しやすい、実現しやすい

2番目に挙げるのは、やってみたい形式やテーマを提案しやすいという点です。参加者層や場所などを前もって把握できますし、提案実現のための調整も、比較的しやすいと考えています。

また、勉強会に参加したいという思いが湧いても、希望通りの勉強会が既にあるとは限りません。自分で運営するという選択肢があると、思いを実現しやすくなるのではないのでしょうか。

◆3. 人見知りでも手持ち無沙汰にならない

勉強会後の懇親会で、話の輪に入りにくくて手持ち無沙汰になった経験、ありませんか？ 私の場合ですが、運営に携わるとと面識が余りないひととも話しやすい気がします。手持ち無沙汰になっても、議事録作成など運営側の作業をしていればよいです。すね。

もし興味を持ったという方がいらしたら、まずは既存の勉強会の運営をお手伝いや WACATE ShortShort (WACATE Magazine Vol. 13 など) の企画をしてみるという方法もあると思います。WACATE Magazine Vol. 11 の KEN さんの記事や、Vol. 7 のカセッチさんの記事も、ぜひご覧になってみて下さい。勉強会の運営は苦労もありますが、得るものも多いと感じています。少しでも興味を持って下さった方がいらしたなら、大変嬉しいです。

では、今後とも、どうぞよろしくお願い致します。

※本記事執筆現在、私が運営に関わっている勉強会(一部)と関連 URL を挙げます。

リンク先は、WACATE 参加者向けの SNS 内のページです。

・yomite.swtest …主にソフトウェア・テストに関する本を読んで、概要の発表や意見交換をしています

http://sns.wacate.jp/?m=pc&a=page_c_home&target_c_commu_id=33

・jissen.swtest …参加者同士でソフトウェア・テストに関する問題を出題し解答しあうなど、実践的なことをする勉強会です

http://sns.wacate.jp/?m=pc&a=page_c_home&target_c_commu_id=44

※本 SNS は WACATE に参加された方のみ参加が可能な SNS となっております。

興味のある方は是非とも WACATE にご参加いただき、SNS に遊びにきてくださいませ。

書いた人：近江 久美子

開運

源太郎の ソフトウェアテスト占い

※「ソフトウェアテスト占い」とは…

日本の伝統的な暦で知られる気学(九気性)をもとに、日本古来の統計学とソフトウェアテストで培った時代の統計学を組み合わせ考察された占いである！(笑)

	生まれ年	4月の運勢
一白水星	S38/S47/S56/H2	運気は平穏に過ぎていくが、思い切って大きな冒険をしてみるのもよい。踏み止まることも必要だが、 一歩一歩前進せねば人生は意味のないものなり。
二黒土星	S37/S46/S55/H1	運気はあまり芳しくない。しかし 金銭的な動きは活発で収支の額も大きい。 調子に乗り 余分な出費が増えそう なので、 十分な計画と行動が大切。
三碧木星	S36/S45/S54/S63	運気は至って好調なり。積年の努力が報われる。社会に認められる 大きなチャンス ともなる。今までの反目争論はきれいに流し、 総ての和合を計ることが吉。
四緑木星	S35/S44/S53/S62	運気はあまり良運とは言い難い。 今月は離宮(りきゅう=南)にあり中宮と相剋となるため、 行き違い手違いのおこりやすい月。 あまり手を広げず地道な行動が必要。
五黄土星	S34/S43/S52/S61	運気は中運と見る。金銭上には意外と好機が訪れるが その機を掴むことが困難。 正道を歩み誠実に対すれば喜びも叶うであろう。邪道は逆に 損失ともなる。 目先のことより将来の目的に向かうこと。
六白金星	S33/S42/S51/S60	運気は衰運となっている。精神的にも疲労が感じられてくる。この辺りで 一旦休息を取り仕切り直すことも方策の一つ。 急がず確実な道を選ぶこと。
七赤金星	S32/S41/S50/S59	運気は低迷状態に入りつつある。何事も慎重に行動し現状維持に務めるのが最善策となる。この機会に平素怠りがちな内面の充実を行うのも良い。
八白土星	S31/S40/S49/S58	運気は一転して幸運月なる。全精力を費やしても 再興の案をたて前進すべし。 多少の争論も誠意が在れば自然に消えていく。自信を持ち力を注ぐべき。
九紫火星	S30/S39/S48/S57	運気は山頂に登った如くいつかは下山の道を選ばねばならぬ。何事も慎重に無理のない方策を選び、 団結しての行動が安全策なり。 他人に思いやりをもつべし。

月盤 九紫火星				年盤 八白土星			
南				南			
暗剣殺				暗剣殺			
東	8	4	6	東	7	3	5
	7	9	2		6	8	1
	3	5	1		2	4	9
北				北			
五黄殺				五黄殺			
西				西			

お知らせ

4月30日(金)にWACATE-Magazine vol.17 発行します!(たぶん)

次号の特集は「WACATE 2010 Summer 情報!」を予定しています★

来たれ! 投稿戦士!

WACATE-Magazine では“ソフトウェアテストや品質に関する記事”を常に募集中です。

来たれ! 投・稿・戦・士!!!

WACATE-Magazine はボランティアベースで発行されています。したがって原稿料は出ません。※ノーギャラです。

投稿いただいた原稿の掲載可否、掲載時期については編集部で決定させていただきます。

特定の商用ツールやサポートなど営利色が強い原稿は原則として掲載いたしません。

レイアウトなどは全て編集部で行います。また、特に戻り確認などは行いません。

単なる論文は掲載しません。紙面の雰囲気を読んだ、イイ感じな文体や内容をお願いします。

公序良俗に反すると思われるものについても掲載しません。

以上を了解した上で、覚悟完了! の方はWACATE-Magazine 編集部「magazine@wacate.jp」まで、是非ご連絡ください。

折り返し、担当より要綱をご連絡いたします。

楽しい、そして役に立つ紙面にするため、是非ご協力いただければ幸いです♪

☆その他、WACATE-Magazine では以下の情報をお待ちしています☆

- 書籍情報(オススメ書籍情報も可)
 - イベント情報(ソフトウェア/品質/テスト関連ならなんでも)
 - 勉強会情報(ソフトウェア/品質/テスト関連ならなんでも)
 - オフ会情報(ソフトウェア/品質/テスト関連ならなんでも)
 - デザート情報(甘いものならなんでも。イカス! やつで。)
- などなど、お待ちしております♪

WACATE
Workshop for Accelerating CAPable Testing Engineers

来たれ
次世代の
戦士達よ!!!

WACATE実行委員募集中♪

★★★ WACATE 実行委員募集中 ★★★

編集後記

いいんちょ★新人君達が初々しい。私も少しは初々しくなりたいっ!

またー★禁煙継続中(“-”)でも体調は相変わらず良くない(/_)

さねだ★気がつくともう4月。そして5月になって、そしてWACATEっ!

あつべ★花見の季節、スキーもシーズン終了! 心機一転です。

コヤマン★桜を見にツーリングしてきました。次の日も花見でした! 飲みすぎました! w

まぎた★家のチューリップが咲きました。これからは、夏野菜と向日葵の準備です!

はれいけん★自宅にいと凍えそうですorz もうっ! 暖かいトコに逃亡しちゃうぞあっw

あらかみ★三寒四温どころか、寒の戻りが厳しい日々が続いていますので、お身体ご自愛ください。

★あくづり★

2010/04/07(wed) あっこ

WACATE-Magazine へんしゅこ

✉ [Magazine@wacate.jp](mailto:magazine@wacate.jp)

<http://wacate.jp/magazine/>